

パブリックコメントに寄せられたご意見への回答

No	意見箇所	ご意見	町の考え方・回答
1	<p>公用車の二酸化炭素排出量の抑制について 4-50、4-52、4-53 他</p>	<p>町では、国の動きに呼応して 2021 年 7 月に、「ゼロカーボンシティ宣言」をされており、町が行うすべての事務事業や所有するすべての施設において、二酸化炭素排出量の抑制に取り組んでおられ、今後も脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化対策の取り組みを推進し、2050 年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すと言明されています。</p> <p>その中で、町の公用車がとてつもなく老朽化しています。清掃車など特殊車を除いて、町役場各課に所属している車は、普通車 1 両、軽四 39 両の計 40 両あり、20 年以上使用している車がなんと、22 両もあります。半数以上です。最高は、26 年使用車が 3 両、24 年使用車は 6 両などとなっています。</p> <p>車の排出する二酸化炭素排出量は、規制が年々強化され 20 年以上前の車に対して現在のハイブリッド車の排出量はかなり少なくクリーンになっています。</p> <p>町議会の決算委員会で、計画的な公用車の代替を指摘したところ、町長は、「車検が通っているので、いかなる年式の古い車であっても乗り続ける。」「そのため、公用車の代替計画は作成していない。」という答弁をしました。</p> <p>2023 年 10 月開催の町の行政改革推進委員会では、「ゼロカーボンシティ宣言をされている一方、古い年式の車を乗り続け排出ガス抑制の認識がないことは、大きな矛盾である。」と指摘しました。</p>	<p>ご指摘のとおり、町保有の公用車の老朽化が進んでおり、車両の更新については課題であると認識しております。</p> <p>現在の対応としましては、令和 6 年度より実施する公用車の一元管理化による所有台数の適正化に向けて調整を行っており、その後更新についての検討を行ってまいります。</p> <p>4-50 にある「公用車の EV 化」という表現につきましては、EV 以外の有効な選択肢も考えられるため「公用車の EV 化等」と改める方向で検討してまいります。</p>

これを受け、今回の計画の 4-52 で、公用車を車検が通る限り乗り続けるという考えを、令和 6 年度以降、2040 年までに EV（電気自動車）化を図るという方向にシフトチェンジされたことは良いと考えます。

しかし、2040 年まであと 16 年です。40 両の車両を 16 年で入れ替えるには、16 年間にわたり毎年、2～3 両の EV 車の購入が必要です。

現在は、一部国の補助があるもののいつまで補助があるのかも確実ではありません。また、現状、かなり二酸化炭素排出量が少ないハイブリッド車と比べて電気自動車は割高であり厳しい町財政を考えると、2040 年までに公用車を全て EV 化するという計画実現に疑問を持っています。

今回の計画の 4-50 などに表現されている、「公用車の EV 化」を「公用車の EV 化等」に書き換えられて、ハイブリッド車による代替の考えを捨てることなく、目標年次に排出量の少ない車に確実に代替して下さい。

ゼロカーボンシティ宣言をされている町の姿勢、意気込みを示していただくためにも、16 年間かけての代替よりもっと早く達成できるよう、中古車による代替も視野に入れていただきたい。

いずれにせよ、今まで作成していない公用車の代替計画を早急に作成され、公用車の二酸化炭素排出量の削減と持続可能な行政運営を強く望みます。